

大阪府知事 吉村 洋文様

新型コロナウイルスに関連し、昨年9月末に厚生労働省から出された病院再編の白紙撤回を求めるとともに地域医療を拡充し保健所機能の拡充を求める要望書

新型コロナウイルスは、世界全体で感染者が1000万人を超え、死者は50万人を突破しました。(6月末)5月には日本でも緊急非常事態宣言が出され、子育てや教育、社会経済に大きな影響をもたらしています。未曾有の感染の広がり、中心的役割を果たす保健所機能は大パニックになり、電話も通じない、コロナ感染以外の従来の保健業務ができない状況です。地域では「感染しているのではないか?」という不安に対し、検査が受けられないという状況がうまれ国の体制に疑義が生じています。

このような中、大阪府では連日対策に取り組み、府民のいのちとくらしを守るべく奮闘いただいています。しかし、地域医療の充実が地域の皆さんの希望であり、身近に安心して医療にかかれる安心感はとりわけ高齢者にとっては非常に大切です。併せて近年、「経験したことのない豪雨」、「命を守る対応を」などの呼びかけが当たり前になり災害時の医療、避難所の感染対策についても待ったなしの状況です。そこで下記の内容を要望します。

要 望 項 目

1. 地域医療構想については3月に行われた大阪府医療審議会の答申を尊重し、市立藤井寺市民病院や済生会富田林病院などを含む11病院の再編統合の白紙撤回を国に要望して下さい。
2. コロナ禍で医療体制の充実が喫急の課題となっています。感染症対策などを含め地域の実情を聞きながら地域医療の拡充を進めてください。
3. コロナの検査拡充のため地域外来・検査センターなどの設置を急いでください。
4. 近大病院移転後も南河内に第三次救急医療体制を維持し、災害拠点病院を配置してください。
5. コロナ禍で保健所の人員不足が明らかになりました。保健所の機能強化と拡充、大阪健康安全基盤研究所を府直営に戻してください。その際、リスク回避のため大阪市立と府立の2か所を維持して下さい。

氏名	住所

※個人情報是要望書以外に使用しません。

南 河 内 の 医 療 を よ く す る 会

連絡先：〒584-0054 富田林市甘南備216番地 福保労コロニー事業団分会気付

大阪社会保障推進協議会河南ブロック代表 竹田雅典

電話 0721-33-1722 FAX 0721-33-3544 メール hukuhoro-colony@circus.ocn.ne.jp

(取り扱い団体)